

テーマ

資本市場中心の金融システムへの 移行ハードルは

適用
分野

経済政策、韓国経済、
韓国金融

研究
名称

韓国における金融システム改革と資本市場

氏名
所属

高 龍秀 教授
全学共通教育センター

内容

●特徴

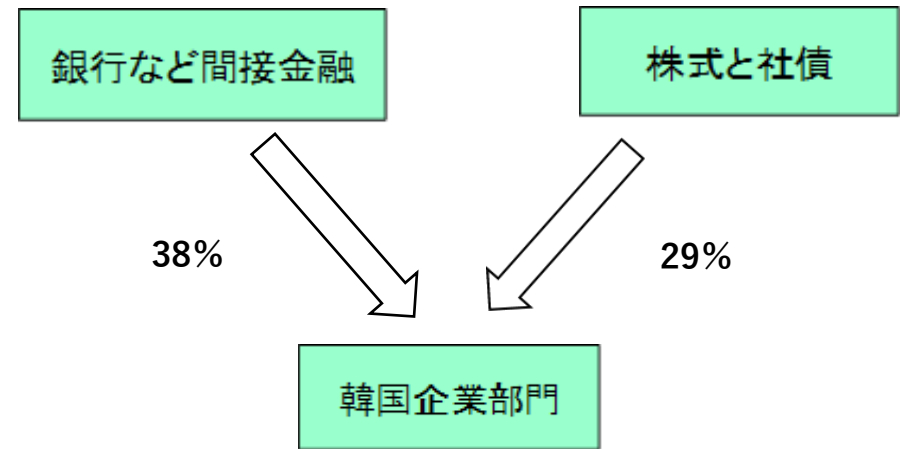
1997年の通貨危機以降の問題点を探り、銀行中心の金融システムから資本市場中心の金融システムへの移行についての検証

●研究内容

1997年の通貨危機は各企業が銀行からの融資を中心に過大な負債を抱えながら、事業拡大に終始しその結果、企業破綻と銀行破綻が連鎖して起こったことが原因とされている。そのような認識から、銀行中心の金融システム（銀行が資金供給で主要な役割を果たし企業を監視する役目もになる）から資本市場中心の金融システム（資本市場が社債などを通して資金供給をおこなうとともに経営監視でも役割を担う）への移行が必要という論議が強まった。しかし、資金循環を見ると家計から銀行などの金融機関への流れが主流で、個人マネーは資本市場に向かうのではなく金融機関、とりわけ銀行に集中している。これは、財閥グループの破綻やそれにひきずられての社債市場の動揺、投資信託会社、カード会社の経営危機が相次ぎ、SKグループの不正経理も表面化した。

韓国の金融・企業システムの核心的問題は、財閥の内部情報が不透明で情報開示に課題があり、突然の経営不振というリスクを背負っている。北朝鮮との関係によるカントリーリスク、労使紛争などとともに、財閥による企業支配構造の不透明さの克服が韓国の金融・企業システム改革の要である。

2006年韓国企業部門の資金調達



キーワード

金融システム、通貨危機、資本市場

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究